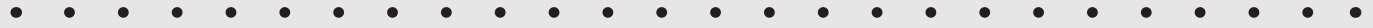


第10回

子ども・若者ケアラーをテーマにした事例検討会 参加募集のご案内



家族のケアを担う子ども・若者のことを、ここでは<子ども・若者ケアラー>ととらえたいと思います。
この集まりでは、事例を通して学業との両立や友人関係、進路や恋愛など、ケアが子ども・若者の生活や人生設計にどのような影響を及ぼしているのかについて理解を深めながら、今後の支援策を検討していきます。
今回は、多方面で講演・支援活動をされている「若年性認知症」の親のケアを担った経験をもつ当事者の方をお呼びし、ご自身の経験や現在の思いをお話いただき、会場全体での意見交換会を実施します。

日時

6月29日(土)

13:00～16:00(開場12:30)

会場

京都市下京青少年活動センター

大会議室 A

(〒600-8202 京都市下京区川端町13)

MAP



申込方法

先着順で受付(定員30名)

<申込方法>HP・メール・電話・直接来館にて受付

<参加対象>13歳～30歳までの青少年、

もしくは教育・医療・福祉・地域等で若者に関わる方

チラシ左下にある主催者の連絡先までお問い合わせください。

(メールの件名に「子ども・若者ケアラー事例検討会」

本文に、名前・年齢・ご所属・電話番号の記載をお願いします。)

□ 内容

1. 子ども・若者ケアラーとは?～プロジェクトの取り組みについて～
2. ゲストによるトーク、事例提供
3. 意見交換会

◆報告者◆

伊藤 耕介 さん

(若年認知症 ねりまの会 MARINE まりねっこ担当)

◆当事者のつどい(16:30～17:30)◆

事例検討会の後に、当事者(元当事者も含みます)の方のつどいを予定しています。
自分のことを話したい方、他の方の経験を聞きたい方、とりあえず仲間に出会いたい方、ぜひご参加ください。

□ プロジェクトについて

プロジェクト・リーダー

齋藤 真緒(立命館大学教授)・濱島 淑恵(大阪歯科大学准教授)

2017年3月より開始した当事業は、これまでに全9回の事例検討会開催を通じて子ども・若者ケアラーの実態の一端を明らかにしてきた。
ケアそのものの捉え方や選択の方法を青少年や支援職者とともに考え、当協会の領域であるユースワークの観点から社会に向けて継続的に発信をしている。

※本プロジェクトは齋藤 真緒教授(立命館大学)をプロジェクトリーダーとし、研究調査の一環として関係者および京都市ユースサービス協会が運営するものである。

主催:

公益財団法人 京都市ユースサービス協会



〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下ル御射山町262(3階)

TEL: 075-213-3681 MAIL: office@ys-kyoto.org

HP: <http://ys-kyoto.org/>

京都市ユースサービス協会は、
若者とともに未来を描き、
若者が生きやすい社会をつくります。